

議事要点

会議名称	令和5年度 第2回立川市国民健康保険運営協議会
開催日時	令和5年7月31日（月） 午後1時30分～午後3時00分
開催場所	立川市役所 208・209 会議室
次第	<p>1 成果連動型特定健康診査受診率向上事業について</p> <p>2 令和4年度の保健事業の実績について</p> <p>3 立川市国民健康保険保健事業実施計画の振り返りについて</p> <p>4 その他</p>
配布資料	<p>【資料】</p> <p>資料1 立川市成果連動型特定健康診査受診率向上事業について</p> <p>資料2 令和5年度の特定健診等の受診勧奨事業について</p> <p>資料3-1 令和5年度特定健康診査受診勧奨及びポスターの掲示について</p> <p>資料3-2 立川市の健康診断（40歳以上）（ポスター原稿）</p> <p>資料4 令和4年度保健事業実績</p> <p>資料5 立川市国民健康保険保健事業実施計画（第2期データヘルス計画・第3期特定健康診査等実施計画）振り返り（令和5年7月）</p>
出席者	<p>[委員]</p> <p>被保険者代表（4名）</p> <p>田尻 隆子 西村 徳雄 宮本 直樹 山田 廣幸</p> <p>保険医及び保険薬剤師代表（5名）</p> <p>五十嵐 弥生 多森 芳樹 平田 俊吉 森谷 健一</p> <p>石原 一生</p> <p>公益代表（4名）</p> <p>頭山 太郎 山本 みちよ 浅川 修一 黒川 重夫</p> <p>被用者保険等保険者代表（1名）</p> <p>大塚 智廣</p> <p>[事務局]</p> <p>副市長 田中 良明 保健医療担当部長 浅見 知明</p> <p>保険年金課長 横田 昌彦 健康づくり担当課長 佐藤 良博</p> <p>財政課長 佐藤 岳之 保険年金課業務係長 小安 裕史</p> <p>保険年金課医療給付係長 熊谷 由希雄</p> <p>保険年金課賦課係長 高橋 定洋 保険年金課業務係 加藤 亜美</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	1人

会議結果	<p>1 成果連動型特定健康診査受診率向上事業について</p> <p>特定健康診査の受診率向上を図るため、公募型プロポーザル方式による事業者選定を行った。予算は、固定費が605万円、成果連動費が363万円、計968万円。株式会社キャンサーズキャンに決定し、契約期間は令和5年6月から令和6年9月末まで。勧奨通知の通数を増やし、通知パターンを細分化して対象者に効果的なデザインとする。</p> <p>健診実施機関向けの対応として、健診受診勧奨ポスターを市で作成し、市内の医療機関で掲示する。5つの市内病院については、市の職員が個別に訪問をし、協力依頼をする予定。40歳前健康意識向上等勧奨事業について、35歳から39歳の被保険者約2,000人に対し、生活習慣に関するアドバイスや、39歳以下の方でも利用できる健診等の案内を内容とするはがきを送付する。</p> <p>特定健診の受診率向上事業について、選定業者の選定理由についての質問に対し、提案内容の的確性、情報管理や社員の教育体制など全ての採点項目で他社を上回っている状況であったためと回答。はがきの通知パターンの振り分けの方法に関する質問に対し、独自のAI技術で国保のデータベースシステムや健診のシステムの情報を分析し、個人の性格の振り分けを行っているという回答。特定健診を受けなかった理由について知りたいと要望があり、何らかの形でアンケート調査を検討していくと回答した。受診率の向上について、自治会との連携の意見があり、検討していくとした。</p> <p>2 令和4年度の保健事業の実績について</p> <p>資料4について説明。特定健診事業は、令和3年度から横ばいという結果。特定保健指導事業の実施率は10.3%と令和2年度までと同等。糖尿病性腎症重症化予防事業は令和3年度と比べて実施者数は同数。ジェネリック医薬品の利用率は、令和4年度の利用率は前年度から0.7%増の82.4%で、これまでで最高値。生活習慣病治療中断者受診勧奨事業は、令和4年度は181人に送付し、うち13名、約7%が通知送付後に医療機関を受診。受診行動適正化事業は、訪問実施者17名のうち16名に行動変容の効果があつた。</p> <p>ジェネリックの経済的、財政的効果についての質問に対し、データヘルス計画作成の段階で資料を示すと回答。国保の糖尿病性腎症重症化予防事業を75歳以上の方へも継続ができないかという意見に対して、来年度予算の策定で後期高齢者への拡大を検討していると回答。受診行動適正化事業で、訪問指導していない方の行動変容を調べることは可能かという質問に対し、分析ができるかどうか確認すると回答。また、案内通知を拒否する方に対するアプローチを立川市でやっていくべきとの意見がでた。特定保健指導実施率はどの程度を目指されているかという質問に対し、特定健康診査等実施計画で60%と設定しているが、現実</p>
------	--

	<p>とは乖離しているため、データヘルス計画で適切な目標を立てていきたいと回答。</p> <p>3 立川市国民健康保険保健事業実施計画の振り返りについて</p> <p>資料5について、第2期データヘルス計画の目標に対する経年実績を説明。ジェネリック医薬品の利用率は目標を達成しているものの、特定健診やほかの保健事業全般の利用率が低く、健康意識の向上を促す勧奨や周知啓発の取組が引き続き大きな課題となっている。次期計画策定に向けた視点として、「健康状態の把握と必要な支援へのつなぎの推進」とし、健診の受診率向上、保健事業の利用率向上、健康教育の推進の3点を挙げた。教育部との連携について、健康の取組について子供のうちから知識をつけていくということができないか検討してほしいという意見がでた。国保の被保険者の20歳以上75歳未満の方で歯科健診は何%ぐらいの方が受診されているのかという質問に対し、後日報告すると回答。</p> <p>4 その他</p> <p>第3回の運営協議会の日程は、10月18日水曜日、13時30分から市役所3階の第1議員会議室で開催予定と事務局より連絡。</p>
<p>担当</p>	<p>福祉保健部保険年金課 電話 042-528-4314</p>